



# ～6月のクラスだより～



ひよこ組

## 【6月の保育のねらい】

- ・体調や気温に留意し、梅雨を快適に過ごす。
- ・様々な姿勢で遊んだり、すりばい・ハイハイ・伝い歩きで移動したりと、身体を動かすことを楽しむ。



## <身体をたくさん使って遊んでいます！>

戸板と台を組み合わせて斜面を設置すると、興味をもって傍まで行ったり、すりばいやハイハイで渡ったりしています。また、段差にのぼったり、後ろ向きでおりたりすることができるようになってきました。

ハイハイは、腕や脚の筋力やバランス感覚が鍛えられる大切な運動です。斜面や段差などの変化や、ボールや筒などを追いかけてたりして、ハイハイを楽しくたくさんできるように、はたらきかけをしていきたいと思っています。ちなみに活動の後は、たくさん麦茶を飲んで一息ついています。



りす組

## 【6月の保育のねらい】

- ・感触遊びを楽しむ。
- ・楽しく給食を食べ、安心して十分に眠る。

## <小麦粉粘土ってたのしいよ>

小麦粉粘土を保育者が長くするのを見て、手の平を使って一生懸命真似ようと真剣な表情です。広げられると、満げけに“同じ”と笑顔で保育者に見せてくれます。端と端を持って、なが～く伸ばしてプチとちぎると、「うわ～」と歓声を上げ、「もういっぱい」と言い手を伸ばして自分でもやってみたり、ジッと見つめ、粘土が変化することに興味深々です。保育者が「なに作る？」と聞くと、「パン！」と必ず答えます。コロコロと丸めようとしていたり、ちぎったり、おもいおもいに手を動かし、「パンパンぱくぱく」と食べる真似をしたり、食べさせてくれたりもします。イメージも広げつつ一緒に遊んでいます。

小麦粉粘土だけでなく、片栗粉粘土・フィンガーペイント・泥など、感触遊びをたくさん楽しんでいきたいと思っています。



うさぎ組

## 【6月の保育のねらい】

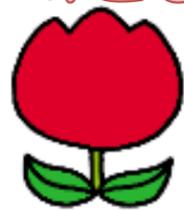
- ・友だちと一緒に砂遊びやウレタン積み木などで遊ぼうとする。
- ・梅雨時期の生き物を探しに行き見たり、触れたりする。
- ・保育者や友だちと感触遊びを楽しむ。

## <おおきくなってね>

以前にこどもたちと話をしてきたきゅうり・トマト・すいかの苗植えをしました。始める前に集まりをした時、**関**「今日はきゅうり・トマト・すいかを植えるよ」**関**「じゃあ、くるまも植えたら？」**さつき**「焼きそばも植えよう」となどと言い始め、想像が膨らむこどもたちでした。きゅうりの苗のトゲに触れてみたり、緑の小さなトマトを見たりしながら、プランターに植えました。

すいかの苗には写真が付いていて、赤いすいかだけでなく黄色いすいかもあることを知り、「黄色のすいかなんてあるんだ」「見てみたーい」と期待する姿もありました。

一人ひとりジョウロで嬉しそうに水やりをしていました。みんなで収穫をして食べることを楽しみに育てていきたいと思っています。



ちゅうりっぷ組

## 【6月の保育のねらい】

- ・感触遊びを楽しむ。(砂・泥・絵の具など)
- ・身の回りのことを大人に見守られながら自分でする。

## 【制作】

絵の具と紙を使ってデカルコマニー（絵の具を塗った紙を半分に折り、転写させる遊びです）をして、色の混ざり具合やできあがる模様を楽しみたいと思います。



## <パッチンガエルを作ってあそびました！>

先日、パッチンガエルを作りました。カエルの顔を描き牛乳パックに貼り付ける、ペンやビニールテープで色付けをする、切り込みに輪ゴムをかける…などなど工程が多かったのですが、「お顔描いたよ。次は貼る？」「カエルの手と足もつけたい！」と大人に聞いたり、隣の友だちの様子を見ながら一つ一つ集中して作るこどもたちでした。出来上がると何度も繰り返し跳ばしたり、「誰のカエルが一番高くジャンプするかな～？」と何人かで一緒に跳ばしたりと楽しんでいます。作ったもので遊ぶ楽しさを感じているこどもたちのキラキラした表情が見られました。今後も制作活動を通して、いろいろな材料を使うことや、作って遊ぶことを楽しんでいきたいと思っています。



さくら組

## 【6月の保育のねらい】

- ・虫や草花に興味を持ち、観察したり発見を楽しむ。また成長を喜ぶ。
- ・簡単なゲーム（フルーツバスケットや椅子取りゲームなど）をクラスの友だちと楽しむ。



## <保育園での食事>

食事では、“食べられる量”を聞いて、大人がお皿によそっています。見た目では「いらない」と言うものや「大丈夫！山盛りして～！」と言いつつ、「やっぱり食べられない…」ということもあります。そんなところがさくら組（4歳児）らしいですが、少しずつ自分の食べられる量がわかって伝えられるようになってきたり、少し苦手なものを食べてみようかと挑戦するようになってくるのもさくら組です。一人ひとり様子が違うので、よそう量や声の掛け方も変えています。クラス全体では「お皿によそったものは食べよう」をベースにしています。

茶碗（左）や汁椀（右）など食器の置く位置も、もうわかっています。時々、正面の友達と同じ配置にして逆になっていることもあります。「ご飯と味噌汁が反対だよ」と知らせるとハッとして直しています。

まだまだ可愛らしくつたないところもありますが、（食事だけでなく）さまざまな場面で基本的な生活習慣を伝えながら、生活していきたいと思っています。



もみじ組

## 【6月の保育のねらい】

- ・それぞれが意見を出し合い、みんなで話し合う。
- ・友だちと楽しく遊ぶ。

## 【今月の挑戦】・樽太鼓に挑戦する。

## <クッキング ～にんじんしりしりを作りました～>

前もみじ組がカレーライスを作ったと聞き、自分たちも作りたいと思っていたこどもたち。どうやったらできるんだろうという話になり、野菜の皮をむいたり切ったりできないとだめだということを知りました。そこで、まずはピーラーを使ってみようということになり、「え～、できるのかな」とか言いながら初めて使うピーラーにドキドキし、ひたすら人参削りに挑戦しました。どうだった？と聞くと、「できた！むずかしくなかったよ」と自信満々に答えていました。削り終わった人参は、こどもたちが見ている前で調理し、給食で食べました。「おいしい」「あまいね」「かつおぶしが踊ってる！」と大満足だったようです。

目標はカレーライス作り。次回は米研ぎと炊飯です。1つの経験から「次はこれをやってみたい」という興味関心を持ち、「できる」という自信が持てたらと考えています。

